

図書館だより No.5

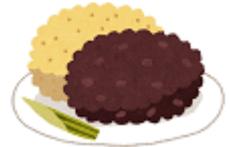
令和4年9月
大洲中学校図書館

秋 到来！

夏休みが明けてからもまだまだ暑い日が続いていますが、夜になると、さすがに秋らしさを感じられるようになりましたよね。

秋といえば…。さて、みなさんは何を思い浮かべますか。

「勉強の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」、「読書の秋」、そして「食欲の秋」！ちなみに私は、月見だんごはやっぱりおはぎ！…かな(^_^)v
図書館では、みんなの心を満たしてくれるたくさんの本を用意しています。すてきな本との出会いがあるといいですね。



新着図書のお知らせ

夏休み中に新しい本がたくさん届きました。ここでは、その中からのほんの一部をご紹介します。

『あのことなにしてた』 ^{わたや}綿矢りさ 著 新潮社



コロナ感染者数の増減に^{いっきいちゆう}一喜一憂したりと、深刻さと楽観視がくるくる入れ替わる心理状況は、まるで洗濯機のなかで洗浄モードと脱水モードが繰り返され、^{きじ}生地がすり減っていく洗濯物みたいだ。

コロナ禍による創作への思わぬ影響、家族との生活の変化、めまぐるしい世界の動き。失ったことだけでなく、得たものにも目を向けてみよう。コロナに揺れる世界、自らの小説と心のうちを見つめ、パンデミック^{しゅうそく}収束への願いをこめながら綴った2020年の日記。

(新潮社公式サイトより)

『はじめての』 ^{しまもと}島本理生 ^{おつむらみづき}辻村深月 ^{みやべ}宮部みゆき ^{もりえと}森絵都 著 文藝春秋



日本を代表する4人の直木賞作家と、小説を音楽にするユニットYOASOBIが奇跡のコラボレーション！テーマは「はじめて〇〇したときに読む物語」。

『私だけの所有者』-はじめて人を好きになったときに読む物語（島本理生）

『ユーレイ』-はじめて家出したときに読む物語（辻村深月）

『色違いのトランプ』-はじめて容疑者になったときに読む物語（宮部みゆき）

『ヒカリノタネ』-はじめて告白したときに読む物語（森絵都）

日本を代表するエンターテインメント作家が「はじめて」をモチーフに描いた渾身の作品です。
(文藝春秋公式サイトより一部抜粋)

その他、たくさん本が到着しましたので、是非見に来てくださいね〜っ(^_^)/〜